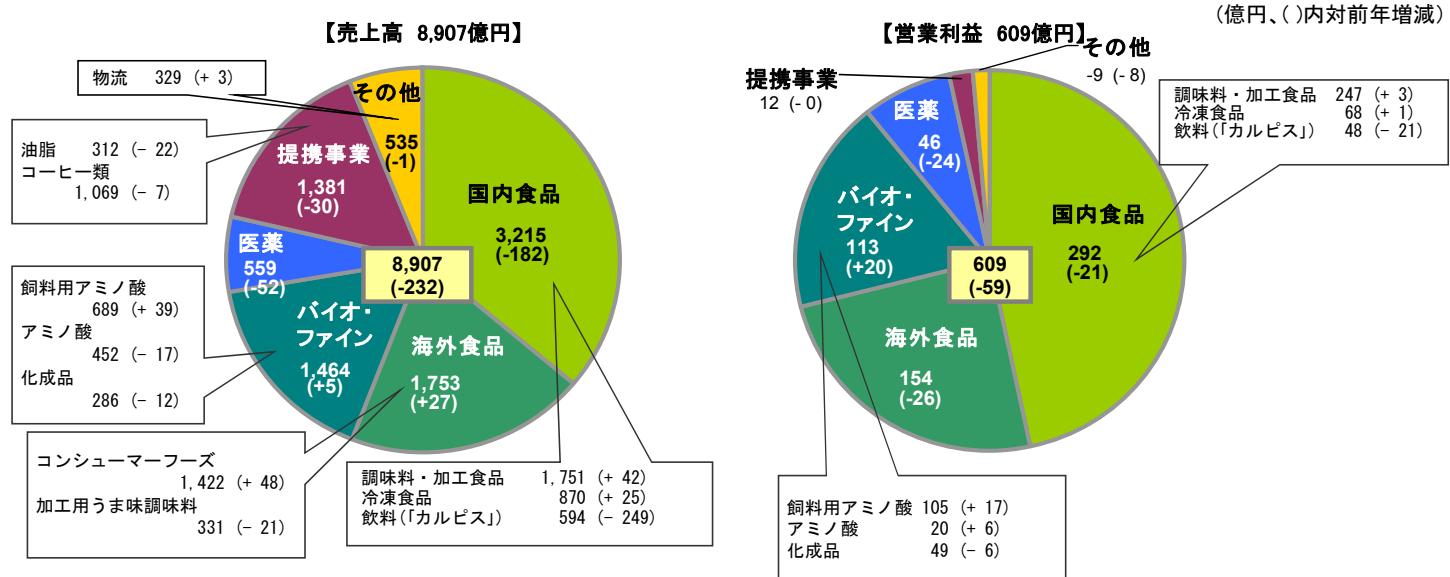


味の素株式会社 2013年3月期第3四半期 参考データ

1. 売上高・営業利益 事業区分別構成(2012年4月～2012年12月)



2. 事業区分と製品区分

事業区分	内訳	主要製品
国内食品	調味料・加工食品	【家庭用】「味の素」、「ほんだし」、「Cook Do」、「クノールカップスープ」、「味の素KKコンソメ」、「ピュアセレクト マヨネーズ」、「ケロッグ」、ギフト各種 【業務用】外食用調味料・加工食品、加工用調味料(天然系調味料、酵素製剤「アクティバ」) ※加工用調味料の海外分は、国内食品セグメントに含まれます。)、弁当・惣菜、ペーカリー製品
	冷凍食品	「ギョーザ」、「やわらか若鶏からあげ」、「エビシューマイ」、「エビ寄せフライ」、「エビビラフ」、「洋食亭ハンバーグ」、「AMOY」(海外販売分)
	飲料(「カルビス」)*1	カルビス株製品(「カルビス」、「カルビスウォーター」、「アミールS」)
海外食品	コンシューマーフーズ	家庭用・外食用「味の素」(各国)、「Ros Dee」(タイ/風味調味料)、「Masako」(インドネシア/風味調味料)、「Sazon」(ブラジル/混合調味料)、「AMOY」(中華系液体調味料)、「YumYum」(タイ/即席麺)、「Birdy」(タイ/コーヒー飲料)
	加工用うま味調味料	食品加工業向け「味の素」、核酸系調味料 ※加工用うま味調味料の日本国内売上分は海外食品セグメントに含まれます。
バイオ・ファイン	飼料用アミノ酸	飼料用リジン、飼料用スレオニン、飼料用トリプトファン
	アミノ酸	【医薬用・食品用アミノ酸】アルギニン、グルタミン、パリン(輸液用途・飲料用途等) 【甘味料】アスパルテーム、「パルスイート」 【医薬中間体】カスタム合成中間体(抗ウイルス薬・抗癌薬・降圧剤等)、ジェネリック原薬、植物抽出品
	化成品	【化粧品原料】「アミソフト」(マイルド洗浄剤) 【化粧品】「Jino」 【電子材料】「ABF」(プリント配線板用層間絶縁フィルム)
医薬	医薬品・医療用食品	【医薬品】臨床栄養(「ソリタ-T」、「ピーエヌツイン」)、消化器疾患(「リーパクト」、「エレンタール」)、代謝性疾患 他(「アテレック」、「ファステイック」、「アクトネル」) 【医療用食品】「メディエフ」、「インパクト」(国内販売分)
提携事業	油脂	(株)J-Oイルミルズ家庭用製品(「サラダ油」、「健康サララ」、「オレイン酸たっぷり べに花油」)
	コーヒー類	味の素ゼネラルフーズ(株)製品(「マキシム」、「ブレンディ」)
※提携事業の営業利益は、販売者・味の素株のコミッショニング(売上高の1%程度)から費用を差し引いたものとなります。		
その他	—	【健康ケア】健康基盤食品(「グリナ」「カブシエイト」)、機能性栄養食品(「アミノバイタル」)、医療用食品(「メディエフ」、「インパクト」) ※医療用食品の売上の大部分は医薬セグメントに含まれます。 【その他】物流、各種サービス他

*1 2012年10月1日に当社保有のカルビス社の全株式をアサヒグループホールディングス株式会社へ譲渡致しました。

3. 国内食品

(1) 主要製品 家庭用市場シェア(当社調べ)*

製品領域	ブランド	市場規模 (億円)	2011年度		2012年度	
			当社シェア(順位) **		市場規模 (億円)	当社シェア(順位) **
			4~9月	年度		
うま味調味料	「味の素」「ハイミー」	78	81%(1位)	80%(1位)	76	83%(1位)
和風だしの素	「ほんだし」	417	43%(1位)	44%(1位)	413	46%(1位)
コンソメ	「味の素KKコンソメ」	130	65%(1位)	66%(1位)	131	68%(1位)
スープ	「クノール」	855	34%(1位)	39%(1位)	863	35%(1位)
マヨネーズ類	「ピュアセレクト」	432	26%(2位)	26%(2位)	432	27%(2位)
中華調味料	「Cook Do」	340	37%(1位)	37%(1位)	335	38%(1位)

* 消費者購入価格ベース

** 当社シェア(順位)については、データの対象範囲を「主に2人以上一般世帯の男女個人および単身者」としております

(2) 国内食品家庭用/業務用比率

		(単位: 億円)				
		2011/4~9	2011/4~12	2011年度	2012/4~9	2012/4~12
調味料・ 加工食品	売上高	1,075	1,709	2,215	1,102	1,751
	家庭用*1	59%	60%	60%	59%	60%
	業務用*2	41%	40%	40%	41%	40%
冷凍食品	国内向け売上高	510	779	1,025	524	799
	家庭用	62%	61%	62%	63%	63%
	業務用	38%	39%	38%	37%	37%

*1 家庭用:家庭用調味料・加工食品、ギフト *2 業務用:業務用調味料・加工食品、加工用調味料、弁当・惣菜、ベーカリー

4. 海外食品

MSG、核酸系調味料 当社推定市場規模

	2010年度				2011年度			
	中国	その他	計	当社シェア	中国	その他	計	当社シェア
MSG(千トン)	1,200	1,290	2,490 *1	約25%	1,260	1,340	2,600 *2	約25%
核酸系調味料(千トン)	-	-	27	約40%	-	-	31	約35%

*1 家庭用:1,340千トン、加工食品メーカー向け:1,150千トン

*2 家庭用:1,400千トン、加工食品メーカー向け:1,200千トン

5. バイオ・ファイン

(1) 飼料用アミノ酸 市況及び当社推定市場規模

	2009年度	2010年度	2011/10~12	2011年度	2012/4~9	2012/10~12	2013/1~3 予想**	2012年度 予想**
							中国	その他
スプレッド(USドル/ST)*	170	140	80	95	215	190	160前後	195前後
市場価格 (USドル/kg・ CIFベース)	リジン	1.60	2.00	2.45	2.35	2.20	2.10前後	2.15前後
スレオニン	2.25	2.55	2.40	2.45	2.15	2.50	2.35前後	2.25前後
トリプトファン	23	23	14	15	11	32	32前後	22前後
リジン	1,465	1,580		1,700				2,000前後
市場規模 (千トン)	当社シェア	23%前後	20%前後	20%前後				20%前後
スレオニン	190	245		270				310前後
当社シェア	50%前後	35%前後	30%前後	30%前後				30%前後
トリプトファン	4.5	4.8		6.0				9.5前後
当社シェア	70%前後	55%前後	40%前後	40%前後				45%前後

* スプレッドはシカゴ商品取引所(CBOT)の大豆粕とトウモロコシの価格差

** スプレッドおよび市場価格は弊社業績予想の前提とは一致しません

(2) アミノ酸系甘味料アスパルテーム 当社推定市場規模

	2010年度		2011年度		2012年度予想	
	市場規模	当社シェア	市場規模	当社シェア	市場規模	当社シェア
アスパルテーム(千トン)	23.0~24.0	35~40%	24.5前後	35%前後	25.0前後	30~35%

6. 医薬

(1) 当社グループ製造承認取得製剤 薬価売上(味の素製薬株推定)

(単位: 億円)

領域	製剤	発売年月	効能または分類	販売者	2011年度	2012/4~12	前年比
臨床栄養、 消化器疾患	「リババト」	1996年 5月	肝疾患用分岐鎖アミノ酸製剤	味の素製薬(株)	156	116	95%
	「エレンタール」	1981年 9月	成分栄養剤	味の素製薬(株)	78	59	99%
	「カーボスター」	2007年 6月	人工腎臓用透析剤	味の素製薬(株)	52	49	126%
	「ソリタ-T」	1962年 4月	電解質輸液	味の素製薬(株)	43	31	92%
	ヘパリン製剤	1972年 4月	血液凝固阻止剤	味の素製薬(株)	23	18	103%
	「ニフレック」	1992年 6月	経口腸管洗浄剤	味の素製薬(株)	22	18	106%
	「ピーエヌツイン」	1993年12月	高力ロリー輸液用糖・電解質・アミノ酸液	味の素製薬(株)	20	13	85%
	「ローハハ」	1996年11月	血液凝固阻止剤	味の素製薬(株)	19	11	76%
	「ツインパル」	2004年 9月	糖・電解質・アミノ酸末梢輸液	味の素製薬(株)	15	9	83%
	「ヘパンED」	1991年 9月	肝不全用成分栄養剤	味の素製薬(株)	10	7	92%
代謝性疾患 他	「アテレック」	1995年12月	持続性カルシウム拮抗降圧剤	持田製薬(株)	170	118	88%
	「アクトネル」	2002年 5月	骨粗鬆症治療剤	エーザイ(株)	141	90	81%
	「ファスティック」	1999年 8月	速効型食後血糖降下剤	持田製薬(株)	39	19	61%

<参考>薬価改定の影響: 2010年4月 - 約6%、2012年4月 - 約6%

(2)開発パイプライン

2013年1月

領域	名称	開発状況	適応	備考
消化器疾患	AJM300	Phase II	潰瘍性大腸炎	
	AJG501	Phase III	潰瘍性大腸炎	導入品 (Dr. Falk Pharma社)
	AJA777	Phase II	機能性ディスペプシア	
	「モビプレップ」	承認	大腸内視鏡検査、 及び大腸手術時の前処置	導入品 (Norgine社) 開発コード: AJG522
	AJG511	Phase II	潰瘍性大腸炎	導入品 (Dr. Falk Pharma社)
代謝性疾患	AJH801	申請中	高血圧症	
	「アクトネル」	承認	骨粗鬆症	剤型追加 / 月1回投与製剤
	「ファスティック」	Phase III	2型糖尿病	DPP-4阻害剤との併用

(3)最近発売の新製品(2012年1月以降)

2013年1月

領域	名称	発売年月	効能又は分類	備考
輸液	「リナセート輸液」	2012年2月	細胞外液補充液 ブドウ糖加酢酸リンゲル液	規格追加 (200mL)